

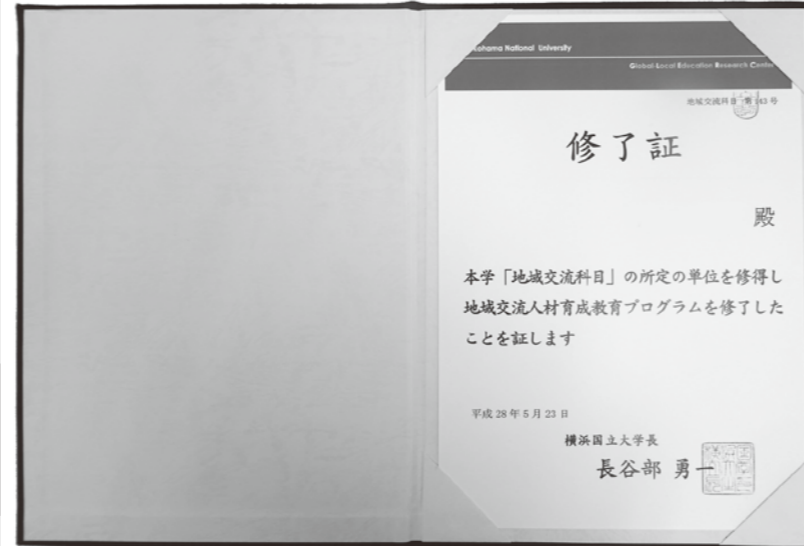
地域交流科目

シラバス 2017

YOKOHAMA

オリエンテーション
4/13 (木), 4/14 (金), 4/21 (金)
昼休み・中央図書館メディアホール

修了証



「修了証」取得者からのメッセージ



村本真菜
Mana MURAMOTO

教育学部 人間科学部 マルチメディア文化課程 卒業
現在、名古屋鉄道株式会社

地域交流コア科目: 地域連携と都市再生A・B
選択必修科目: ワークショップ「多角的共生をめざして」
建築の環境と防災、共生支援論 A
地域課題実習: 公共空間の活用とにぎわいづくりPJ

地域交流科目を受講する事で、まちづくりやNPOで活躍している外部の方と交流し、実践的な考えを知る機会を得ることが出来ました。講義で学んだ事を生かし、私は3年間、和田町商店街で賑わいづくりの活動に取り組みました。商店街や地域の住民の方々と共に和田町を盛り上げていく中で、人と人の繋がりの大切さを再確認し、身近な地域に対し自分がどのように関わっていくべきかを考える事が出来るようになりました。



足立喜一郎
Kiichirou ADACHI

経済学部 国際経済学科 卒業
現在、横浜市役所

地域交流コア科目: 地域連携と都市再生A・B
選択必修科目: 地方財政
地域課題実習: 地域から水と大気を考えるエコプロジェクト

神奈川の自然はどうなっているのか。環境政策は何か行われているのか。地域を限定した身近なテーマ設定により、普通の授業では得られない臨場感を味わいました。実際に行ってみないと分からないことばかりで、新しいことを学ぶたびに人のつながりが増え、広い視野を持つことができました。地球規模の環境や経済も、地域で人が影響しあうことから始まると身をもって感じました。これからも「グローバル」を心がけようと思います。



市木晶子
Akiko ICHIKI

経営学部 会計・情報学科 卒業
現在、ソーニー株式会社

地域交流コア科目: 地域連携と都市再生A・B
選択必修科目: 建築の環境と防災、環境をめぐる諸問題、企業環境システム論
地域課題実習: エコの芽を育てるプロジェクト

私は「エコの芽を育てるプロジェクト」に参画しました。1年目は上級生と私の4名でしたが、2年目は同学年の学生が加わり8名になりました。地域課題実習では学内から外に出て、地域の方にも温かいご指導を頂く機会もあります。自ら課題を設定し、積極的に動くことを通じて、沢山のものを得ることができます。年度末には成果発表の機会があるので、自分のしたことをしっかりとプレゼンテーションできる能力を高めて下さい。



猪原 真理子
Mariko INOHARA

工学部 社会空間システム学専攻 建築学コース 卒業
現在、東京都庁

地域交流コア科目: 地域連携と都市再生A・B
選択必修科目: 都市と都市計画、居住空間の計画、屋外気候と建築環境、都市と自然環境
地域課題実習: 公共空間の活用とにぎわいづくりPJ、和田べんプロジェクト

私は地域課題実習を機に、4年間和田町地域の活性化活動に取り組み、人と人の信頼関係の大切さを実感しました。これまでの自らの提案は、他の学生だけでなく、住民・行政・NPO等の方々の協力のもとで実現されてきました。その裏には、地域のまちづくり会議や行事への参加など、現地での人とのコミュニケーションの積み重ねがあります。今後はその行動力を活かし、さらに広いフィールドでの課題解決に取り組んでいきたいです。

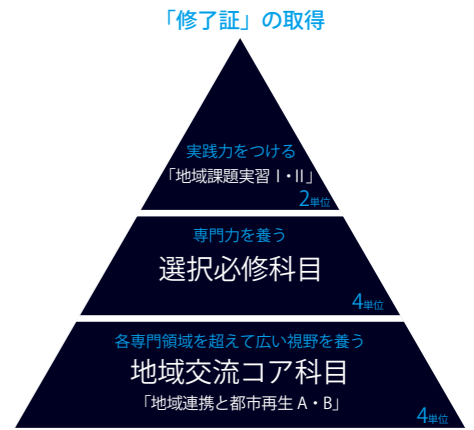
● 修了証を取得した人はセンターのHPで紹介・掲載することを予定しています。

『地域交流科目』の概要

グローバル化が進むなかで、実際の経済活動の場である都市・地域のそれぞれが活力を維持し、そこに生活する市民の生活の質をいかに高めていくかが21世紀初頭の大きな課題になっています。このような現代的課題とニーズに対応するため、本学では「教育学」「経済学」「経営学」「理工学」が連携して各学部領域を横断して学ぶ副専攻プログラム『地域交流科目』を設置し、グローバルな視野をもって地域課題を解決できる先端的かつ複合的な実践能力を身につけるプログラムを運営しています。『地域交流科目』は、①「地域連携と都市再生」4単位、②「選択必修科目」4単位、③「地域課題実習」2単位から成る科目で構成されています。この科目の受講・参画により所定の10単位を修得すると、副専攻プログラムの修了証を取得できます。

* 副専攻プログラムとは *

知識基盤社会が求める総合性・学際性への対応、また学生からのニーズへの対応として自らの所属する専攻(課程・学科)以外の分野を系統的に学習するプログラムです。



履修・申請の流れ



「オリエンテーション」
4月13日(木),14(金),21(金) 昼休み
場所:中央図書館メディアホール

地域交流科目の説明と、地域課題実習の各プロジェクトの紹介を行います。興味・質問がある人、履修する予定の人は参加してください。



「履修登録」
春学期: 4/7(金) ~4/21(金)
秋学期: 10/5(木) ~10/20(金)

「地域課題実習」 参画したいプロジェクトを申請

■ 申請×切は4月21日

地域課題実習を単位履修する人(あるいは単位なしでも参画する人)は希望プロジェクトを申請してください。申請方法は2通りあります。

・右記の「QRコード」から登録。

・下記サイトから、「『地域課題実習Ⅰ・Ⅱ』参画プロジェクト希望用紙」をダウンロードして、地域実践センターに提出。
http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp/45form/pdf/gb_1.pdf

検索 地域課題実習 参画プロジェクト希望用紙



・「地域連携と都市再生A・B」(教養教育科目)
・「選択必修科目」(教養教育科目・学部専門科目)
・「地域課題実習Ⅰ・Ⅱ」(教養教育科目)

履修申請は、裏頁の地域交流科目一覧を参考にしながら登録しましょう。地域課題実習は春学期「地域課題実習Ⅰ」、秋学期「地域課題実習Ⅱ」毎に履修登録する必要があります。秋学期に履修登録を忘れる人が多いので気をつけましょう。

「地域交流科目」

・「地域連携と都市再生A・B」
・「選択必修科目」
・「地域課題実習Ⅰ・Ⅱ」

10単位

『地域交流科目』は4年間をかけて履修し、修了証を取得することが可能です。各科目をいずれから履修しても良いですが、教養教育科目の「地域連携と都市再生A・B」を1~2年生のうちに履修するとスムーズです。



「修了証」

申請×切: 4/21, 11/24, 3/2

地域交流人材育成教育プログラムの修了認定

「修了証取得者からのメッセージ」を参照に。

修了認定の要件は以下の通りです。

① 地域交流コア科目(必修)	4単位取得
② 選択必修科目	4単位以上取得
③ 地域課題実習(必修)	2単位取得
④ 上記①~③の申請に基づくGPA ^{※1}	3.0以上



修了すると修了証の授与とともに、修了記録として成績証明書の特記事項欄に「副専攻プログラム(地域実践)修了」と記載されます。また、センターのHPにて修了者の紹介が掲載される予定です。就職や進学の際、各自の実践的な取り組みを端的にアピールするものとして効果が期待できます。修了証は自己申請により発行されるものであり、下記3点の提出が必要です。

1: 地域交流科目 修了認定申請書
右のQRコードからダウンロード or 検索 地域交流科目 修了認定申請書
2: 成績証明書
3: レポート等
提出は随時受け付けていますが、4/21, 11/24, 3/2毎に×切り、5月、12月、3月に発行されます。申請者の学部学年は問わず、大学院生も申請可能^{※2}です。

※1 GPA(成績評価)にあたっては、入学年度に応じた算定を行います。
※2 地域交流人材育成教育プログラムの修了認定に際して「選択必修科目」は他大学で修得した科目による認定もできる場合がありますので、個別に相談下さい。

グローバルな視野をもって地域課題を解決する
先端的かつ複合的な実践能力を身につけるプログラム



